福井鋲螺
METAL PARTS INNOVATOR

Sustainability Report 2023

福井鋲螺グループ　サステナビリティレポート

福井鋲螺株式会社は、SDGsの目標達成に貢献することを宣言します。

福井鋲螺の SDGs 達成に向けた取組みの一環として、
「自家消費型」の太陽光発電設備を
2021年3月に細呂木事業所 第1棟、2022年2月に加賀工場、
2023年4月に細呂木事業所第8・9棟に設置、運用しています。
3拠点で年間約1,200tCO_2削減を実現します。

CONTENTS

SDGsとは 3

福井鋲螺のSDGsへのアプローチ 4

SDGs目標達成に向けた具体的取組み 5

クリーン技術及び環境に配慮した技術の拡大 6
子供の未来へつながる取組み 7
働き甲斐のある人間らしい仕事を提供する 8
男女に関係ない個々の能力を活かす環境を提供する 9
地元に貢献し持続可能な環境を提供する
TOPICS – SDGs 関連活動 10

環境への重点活動テーマ 11

CO_2 排出率 12
福井県「カーボンニュートラル推進企業 大賞」受賞
産業廃棄物廃棄率 13
環境緊急事態発生ゼロの継続
TOPICS – 改正省エネ法の事業者クラス分け評価制度 14
9年連続「Sランク」評価獲得

(報告対象)

対象組織：福井鋲螺株式会社

対象期間：2023年度（2022年12月21日～2023年12月20日）

SDGsとは？

SDGs（エスディージーズ：Sustainable Development Goals 持続可能な開発目標）とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標（MDGs）の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された国際目標です。
2030年までに持続可能なより良き世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人として取り残さない」ことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取組むべきユニバーサル（普遍的）目標として、日本国内でも積極的な取組みが進められています。

福井鋲螺のSDGsへのアプローチ

福井鋲螺株式会社は、創業から60年以上にわたってお客様と共に歩み続けてきました。その福井鋲螺の技術は、さまざまな業界のお客様からいただいた数多くのご要望によって育てられ、磨き上げられてきました。これからも福井鋲螺は、「冷間鍛造技術」をコアテクノロジーとして、お客様が抱えるニーズの実現を目指して挑戦を続けることによって、多岐にわたる分野でのSDGsの達成に貢献してまいります。

当社の事業を通じたSDGs への貢献目標

社会的課題

クリーン技術及び
環境に配慮した技術の拡大

気候変動の影響を軽減するための
緊急対策を講じる

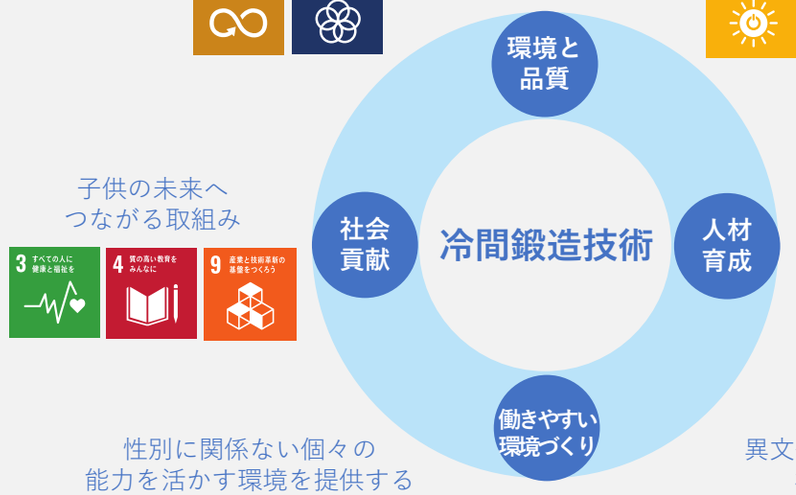
子供の未来へ
つながる取組み

地元に貢献し持続可能
な環境を提供する

性別に関係ない個々の
能力を活かす環境を提供する

異文化交流による
相互理解

働き甲斐のある
人間らしい仕事を提供する

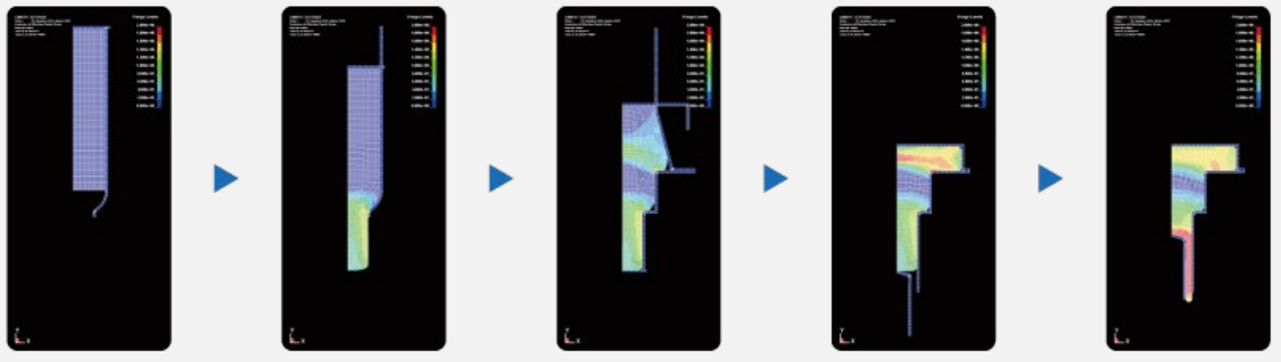


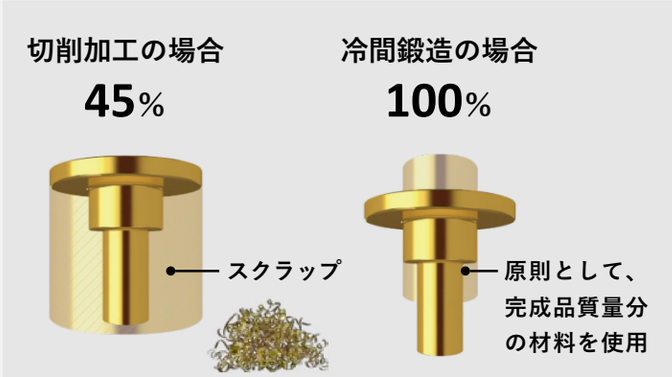
持続可能な社会の実現

SDGs目標達成に向けた具体的取組み

環境に優しい冷間加工技術

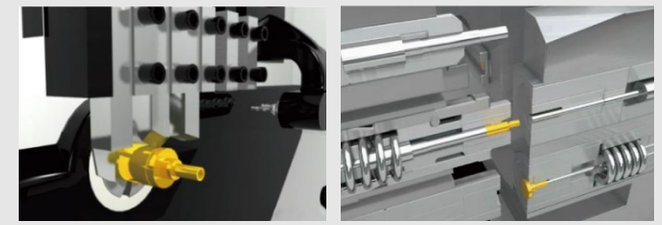
福井鋲螺の基幹技術である冷間鍛造技術は、常温（室温）環境下で金属に圧力を加え、変形させながら高速加工を行う技術です。





材料利用効率の比較

金属を削らずに加工を行う冷間鍛造技術は、材料の利用効率が高く、製造途中に材料のロス（削り屑等の金属廃棄物）がほとんど発生しません。このような特長から冷間鍛造技術は、「環境に優しく、合理化に強い」加工技術と呼ばれています。



生産スピードの比較（段付きリベットの場合）

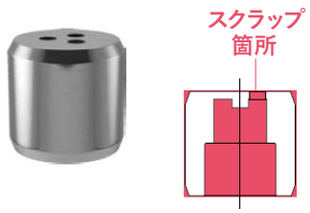
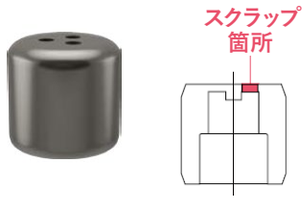
福井鋲螺では、冷間鍛造技術の特長を最大限活かした新製品開発を行うことにより、材料の有効利用や高速生産化を推し進め、事業活動を通して世界的規模での「CO_2排出量削減」に貢献していくことを目指しています。

01 – クリーン技術及び環境に配慮した技術の拡大

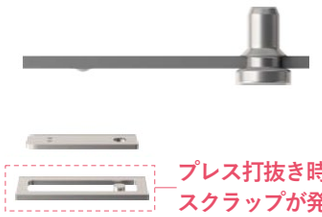
環境に優しいものづくり

新規顧客とのグローバルパートナーシップ関係強化により、脱切削部品（CO_2の削減と原材料の有効利用）への展開を図る。

目標 社内目標値の達成

Before	After
切 削 加 工	100％冷間鍛造化
	
1個当たり 2.9gのスクラップが発生	金属スクラップ **9.9t / 年 削減**

製造工法の見直しによる
金属スクラップ（CO_2排出量）の削減

Before	After
プレス加工＋冷間鍛造 ＋２部品を接合＝計３工程	冷間鍛造１工程化 ※一体化（１部品化）加工
	金属スクラップ **10.1t / 年 削減**

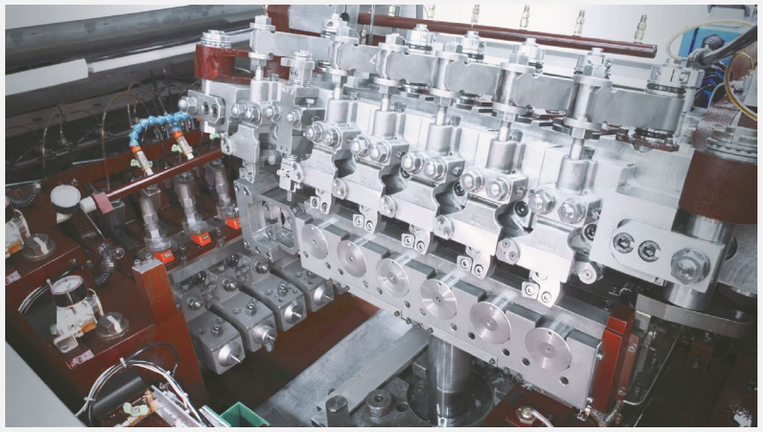
工程設計の見直しによる製造工程数と
金属スクラップ（CO_2排出量）の削減

不良率低減による金属廃棄の低減

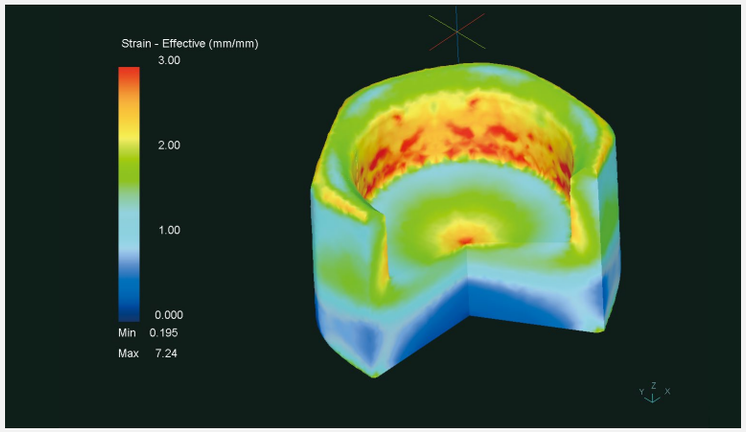
冷間鍛造の技術革新により不良率を低減し、
金属廃棄量の低減につなげる。

目標 **2030年までに製品金属廃棄量 15％削減**

※ 2019年度生産量比



冷間鍛造の技術革新による不良率低減



FEM解析を活用した効率的な新製品開発

02 – 子供の未来へつながる取組み

社員教育体制強化による社員のレベルUP

新規顧客とのグローバルパートナーシップ関係強化により、脱切削部品（CO_2の削減と原材料の有効利用）への展開を図る。

- 教育カリキュラムによる教育制度の構築およびレベルUP
- 階層別教育の実施

目標 **毎年、未来ある子供を応援する基金への寄付実現**

● ウォーキングイベント

10月にウォーキングイベントを開催。社員が歩いた距離の総合計（5万7千km）×10円で換算した57万円を寄付金として福井県社会福祉協議会「子ども未来応援バンク」に贈呈しました。

● 坂井高校出前授業

坂井高校にてPPES 様主催による「カーボンニュートラルの意味を考える」をテーマに、企業間、地域間を超えた地域貢献活動（出前授業）を実施しました。

小・中・高・大学生の工場見学受入れ

「ものづくり」への関心を持ってもらうことで、次世代を担う人材育成に寄与するために、小・中・高・大学生の工場見学を受入れする。

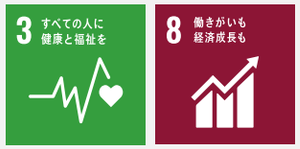
目標 **希望校の全校受入れ**

● 工場見学の受け入れ

工場見学の受入れを行いました。2023 年度は、5校の学生の皆様にご来社いただきました。

03 – 働き甲斐のある人間らしい仕事を提供する

健康で働き続けられる職場環境づくり



健康で働き続けられる職場環境づくりのために、社員の健康保持活動、健康への配慮を行う。

- 長期休暇制度の取得推進を図り、社員のリフレッシュを促すと共に年次有休5日取得の義務を果たす。
- 勤務間インターバル（10時間）の導入を図る
- 男性社員の育児休業の促進を図る 等

目標 **年次有休取得率のＵＰ**

● 有給休暇取得率の向上

有給休暇取得申請の利便性の向上を図り、取得しやすい環境整備を行いました。

年次有給休暇及び長期休暇取得率の推移

年度	2021年	2022年	2023年
年有休取得率	58 %	65 %	71 %
長期休暇取得率	70 %	75 %	74 %

※ 2020 年度はコロナ禍による休業対応のため取得率は減少。

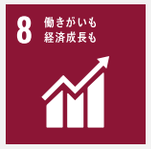
● 男性の育児休業取得推進

2022 年育児介護休業法改正に伴い、育児休業関連制度の研修を動画で受講できるよう環境整備を行いました。

育児休業取得率の推移

年度	2021年	2022年	2023年
男性取得率	54 %	40 %	50 %
女性取得率	100 %	100 %	100 %

全社員の豊かさを向上



技術開発企業を目指し、高付加価値、高収益を達成することにより、全社員の豊かさを向上させる。

目標 **全社員の人事面談により、社員満足度をＵＰさせる**

● 人事面談の実施

社員満足度の向上のため、年間を通して計画的に人事面談を実施しています。

人事面談実績

年度	2021年	2022年	2023年
面談人数	153人	167人	162人

● 社内コミュニケーションの活性化

働き甲斐向上に向けた活動として「職場交流会助成制度」を設けています。部署内の親睦会に対し、飲食代の一部を会社が補助しています。また、社員が困ったときに気軽に相談ができる環境を目指し「福井鋲螺チャットルーム」を開設しています。チャットルームのQRコードを記載した名刺サイズのカードを配布しています。

04 – 男女に関係ない個々の能力を活かす環境を提供する

ジェンダー平等の実現

ジェンダー平等の実現のため、
下記2点を推進する

- 技術職、機械オペレーターでの女性社員採用
- 性別に関係ない能力による役職者登用

目標

**職務範囲を拡大の上、
職場環境を整備し配属する**

● 開発職、機械オペレーターでの女性社員採用

年度	2021年	2022年	2023年
人数	1人	1人	1人

● 性別に関係ない能力による役職者登用

リーダー以上の役割を担う女性社員が活躍できる環境の整備に努めています。リーダーは、担当ユニットのメンバーをまとめ、将来の役職者候補として評価や面談を行います。

女性役職者数の推移

年度	2021年	2022年	2023年
人数	10人	12人	10人
割合	9.0％	10.2％	8.4％

05 – 地元に貢献し持続可能な環境を提供する

地域雇用にて貢献

現地生産体制の強化を図ると共に、
地域からの雇用を促進し、地域に貢献する。

目標

**事業所（福井県、石川県）
での継続採用**

● 地元地域からの積極採用

新卒及び中途採用において、事業所のある福井・石川県より積極的に採用しています。また、地元中学校の職場体験も受入れています。

地元地域からの採用者数の推移

年度	2021年	2022年	2023年
福井県	7人	22人	14人
石川県	5人	3人	10人
合計人数	12人	25人	24人
割合	100％	100％	100％

TOPICS – SDGs 関連活動

●未来協働プラットホームふくいへの参加

17 パートナーシップで目標を達成しよう

3月3日、当社のSDGsおよび脱炭素に関する取組みについて講演し、県内企業や、大学生の皆さまに理解を深めていただきました。

●ふくい健康づくり実践事業所 知事賞受賞

8 働きがいも経済成長も

3月13日、当社は健康経営の推進・取り組みについて最も優れた「知事賞」を受賞いたしました。

●海と渚のクリーンアップ活動

14 海の豊かさを守ろう

6月4日、福井県漁業協同組合連合会主催の清掃活動「海と渚のクリーンアップ活動」に参加しました。

●子ども服寄付プロジェクト

1 貧困をなくそう

6月、社内で子ども用衣料品の寄付を募り、フクイビョウラタイランドの協力のもと、8月23日、タイの児童養護施設を慰問し、寄付を行いました。

●ふくいSDGs わくわくWorkshop

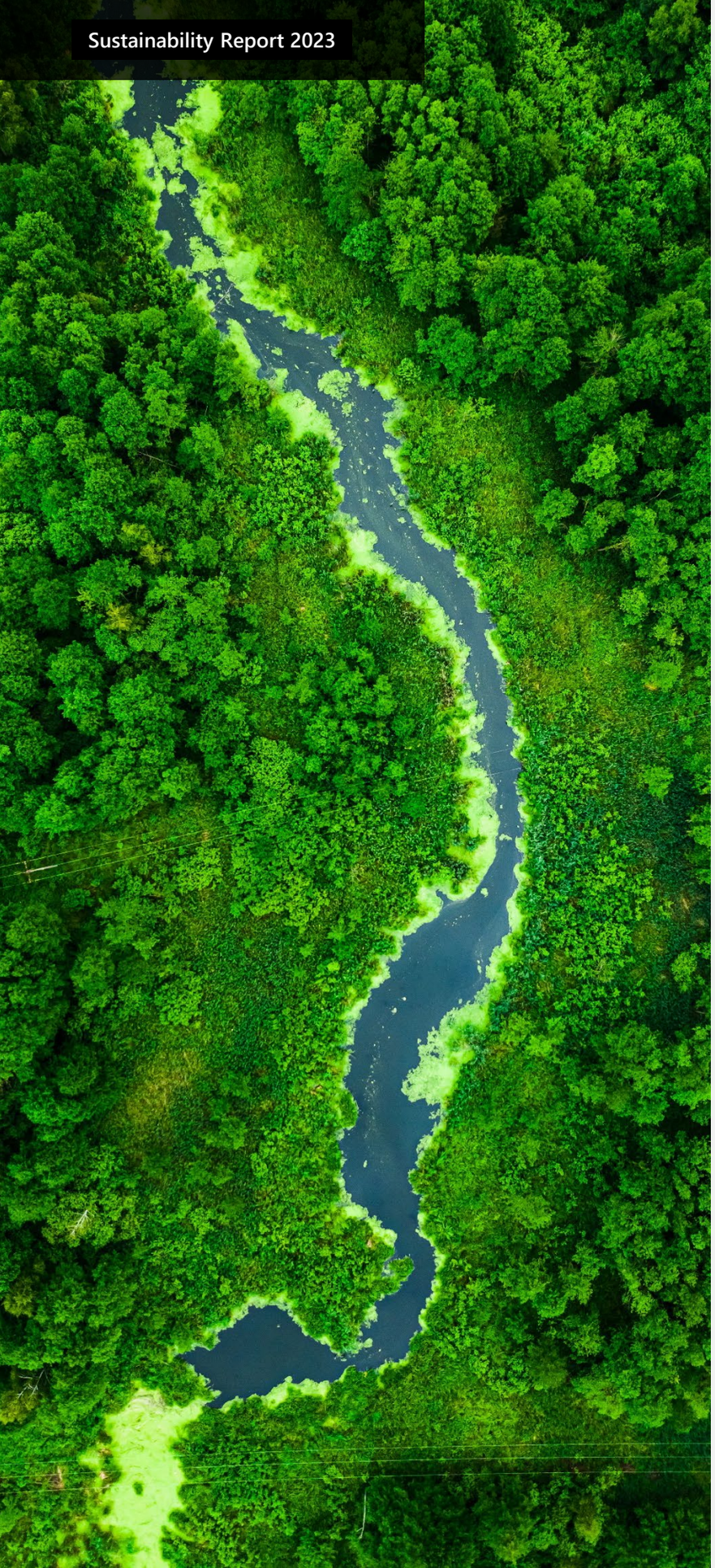
17 パートナーシップで目標を達成しよう

9月、福井県が主催するイベント「第一回ふくいSDGsわくわくワークショップ」が当社で開催されました。

●ベジチェック

3 すべての人に健康と福祉を

10月7日、社内スポーツイベント内で野菜の摂取量を計測する「ベジチェック」の模擬店を出店しました。



福井鋲螺：環境への重点活動テーマ

当社は、環境に対するSDGsのゴールにつなげるための具体的な活動目標として、経営方針（環境方針）の中に４つの「重点活動テーマ」を掲げ、事業活動全体を通して2030年までの目標達成を目指しています。また、2021年実績を元に目標値の見直しを行いました。特に、CO_2排出について「2030年までにカーボンニュートラルを目指す」に改訂し、地球温暖化防止を図っていきます。

CO_2排出
カーボンニュートラルを目指す

（2025年までに2013年CO_2排出分をカーボンニュートラル）

【具体的な活動】
- 太陽光パネルの設置
- リモート会議、テレワークの推進
- デマンドコントロールシステム 等

製品金属廃棄物廃棄率
15%削減

（2019年材料使用量比）

【具体的な活動】
- 工程不良削減 取組み 等

４つの重点活動テーマ

産業廃棄物廃棄率
60%削減

（2013年売上原単位比）

【具体的な活動】
- 3R徹底等

環境緊急事態発生ゼロの継続

※環境緊急事態＝油脂等の外部への漏えい

（2020/4/6 ～ 2030/12/31 迄）

【具体的な活動】
- 予防処置取組み
- 内部監査の強化
- 油脂保管施設の点検

環境への重点活動テーマ（SDGs 取組み）

2023年度 CO_2削減取組み事例

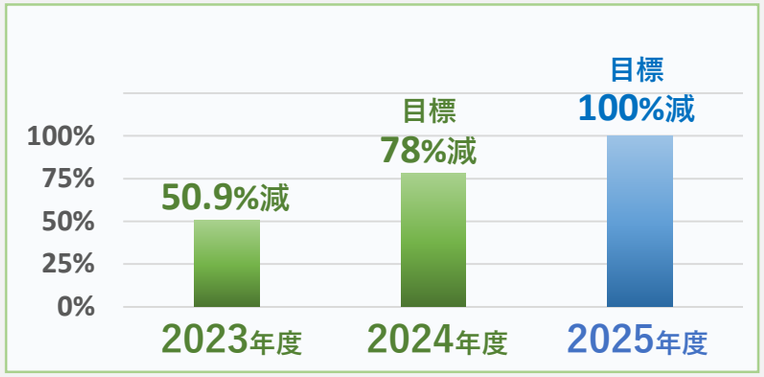
太陽光発電設備を導入（細呂木事業所第8・9棟）

脱炭素社会の実現に向けた温室効果ガス排出量削減への取り組みの一環として、北陸電力ビズ・エナジーソリューション株式会社との契約(※PPAモデル) を締結し、弊社細呂木事業所第8・9棟(福井県加あわら市)に、第3弾となる太陽光発電設備を設置。2023年4月1日より運用を開始しました。

※ PPA(Power Purchase Agreement)
= 自家消費型 太陽光電力供給契約

細呂木事業所 第8・9棟

【 CO_2 排出率 】（2013年CO_2排出比）



年度	2023年	2024年	2025年
2013年比	－50.9 %	－78 %	－100 %

※ CO_2 排出係数 ＝ 0.497kg ― CO_2で算出（北陸電力様：2019年排出係数引用）

福井県「カーボンニュートラル推進企業」において「大賞」を受賞

福井県主催で開催された「福井県カーボンニュートラル推進企業表彰」※にて「大賞」を受賞。北陸初の太陽光オンサイトPPAの導入、省エネ法のクラス分け評価での8年連続でSクラスの獲得や、脱炭素化に向けた人材育成の取り組みが評価されました。

※ 福井県内で、先進的にカーボンニュートラルの取組みを行っている企業を応援することを目的に、応募企業の中から選定された企業に対し「カーボンニュートラル推進企業」として表彰を行う

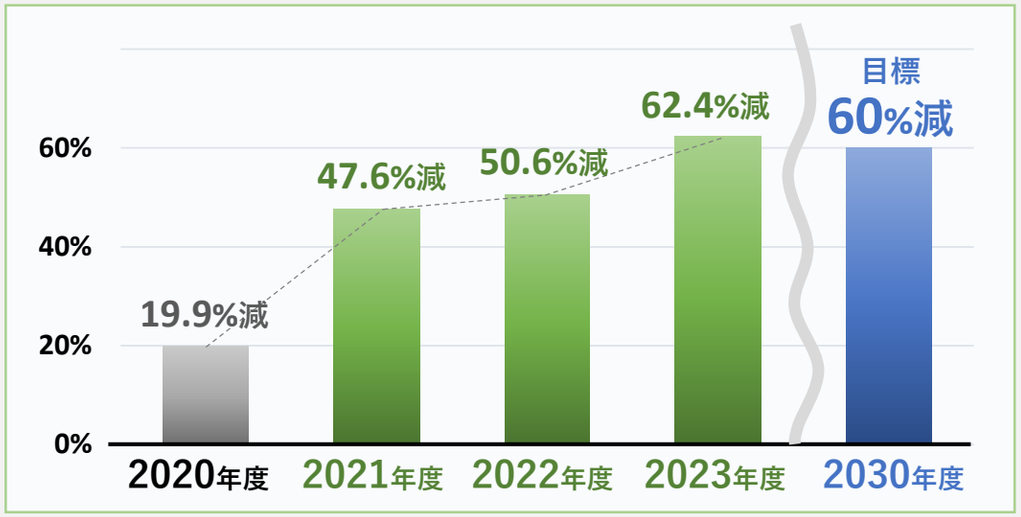
【パネルディスカッション参加】

福井県カーボンニュートラル推進企業表彰後に、福井県庁主催のパネルディスカッションに参加しました。「福井県で脱炭素化に取り組むには？」のお題目にそって、著名なパネラーの方々とともに、カーボンニュートラルに向けてどのような取組が必要か等をディスカッションしました。

環境への重点活動テーマ（SDGs 取組み）

産業廃棄物廃棄率

【 産業廃棄物廃棄率 】 （2013年 売上原単位比）



年度	2013年	2020年	2021年	2022年	2023年
原単位	61.6	49.6	33.0	30.4	23.2
2013年比	—	－19.9％	－47.6％	－50.6％	－62.4％

（原単位：kg / 売上）

環境緊急事態発生ゼロの継続 （2020/4/6 ～ 2030/12/31）

環境緊急事態発生ゼロの継続（2030年末迄）

2014年10月14日に発生した環境緊急事態を受け、環境重点活動テーマに「環境緊急事態発生2000日間ゼロ」を掲げ、環境予防処置等、様々な取組みの実施により、2020年4月6日に環境緊急事態発生2000日間ゼロを達成しました。2024年度も更なる継続的改善を推進し、環境緊急事態発生ゼロを継続しています。
（2023年12月31日時点＝3,176日）

【緊急事態対応訓練】

NLサイト（訓練実施日：2023年10月25日）

細呂木サイト（訓練実施日：2023年10月30日）

TOPICS – 改正省エネ法の事業者クラス分け評価制度 9年連続「Sランク」評価獲得

当社は、経済産業省 資源エネルギー庁が定める改正省エネ法の事業者クラス分け評価制度で9年連続「Sクラス」評価をいただきました。

●事業者クラス分け評価制度とは？

省エネ法の定期報告を提出する全ての事業者をS・A・B・Cの4段階へクラス分けし、クラスに応じたメリハリのある対応を実施するための制度です。Sランクは省エネが優秀な事業者（目標達成事業者）で、5年平均原単位を年1%以上低減すること等が条件になります。10年連続Sランク評価をいただくよう、2023年度も引き続き省エネ活動を強化していきます。

標準産業分類中分類	特定事業者番号	主たる事業所の所在地	事業者等名番号	省エネ評価								
				2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
24 金属製品製造業	104751	福井県	福井鋲螺株式会社	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆

※「省エネ評価」欄：Sクラス評価に「☆」を記載

福井鋲螺株式会社
〒919-0898 福井県あわら市山十楽1-7
URL https://byora.co.jp